

平成21年6月25日
資源エネルギー庁

アブダビ首長国との共同備蓄プロジェクトの開始について

～アブダビ原油を日本国内に貯蔵するプロジェクトが始まります～

6月25日（木）アラブ首長国連邦アブダビにおいて、資源エネルギー庁とアラブ首長国連邦アブダビ首長国最高石油評議会（SPC）との間で、共同備蓄プロジェクトの基本的事項について合意いたしました。

1. 本プロジェクトは、アブダビ国営石油会社（ADNOC）の原油を日本に貯蔵するもので、本年初秋には、新日本石油（株）喜入基地（鹿児島県）においてADNOC原油の貯蔵がスタートする予定です。
2. このプロジェクトは日本、アブダビ両国にとって有益です。
 - ・ アブダビにとっては、東アジアオイルマーケットとの関係の緊密化が期待されます。
 - ・ 日本にとっては、緊急時（石油の供給不足時）において貯蔵される原油の優先的な供給を受けられ、エネルギーセキュリティが向上します。
3. 本プロジェクトは本年3月のアブダビ側からの提案を受け、両国間で議論を重ね、この度基本的事項の合意に至ったものです。本プロジェクトの開始により、日本の原油輸入の約25パーセントを依存するアブダビとの戦略的友好関係が一層強化されることが期待されます。

（本発表資料のお問い合わせ先）

資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油精製備蓄課長 角野 然生

担当者：正田課長補佐、堀江専門職、福島係長

電話：03-3501-1511（内線 4651）

03-3501-1993（直通）